

The Concierge Report

地域の「福祉」と「教育」にかける思い

コンシェルジュの活動を通して地域貢献を

君津市で活躍されている社会福祉法人「志真会」理事長の天笠寛氏、学校法人「翔凜学園(旧千葉国際中学校・高等学校)」の元理事長・校長先生である大谷晋二氏にお話を伺いました。

— 天笠さんが福祉関係のお仕事を始められたきっかけはなんですか？

天笠 2000年に訪問介護事業が民間でもやれるということで手を上げて、社会福祉法人を立ち上げましたが、実は何もわからないところからのスタートでした。でも、色々な仕事に携わってきましたが、福祉の仕事は最初から肌に合ったというか大好きだなと感じていました。それは、私が「おじいちゃん、おばあちゃん子」だったことに関係があると思っています。祖母は100歳、祖父は94歳の長寿を全うしましたが、福祉のことを全く知らなかった私がこの仕事を始めたのは、その祖父母を間近で見ていたこともあって、高齢者の方と触れ合う仕事でできればいいなと感じたこと。今にして思えば、それがきっかけだったのかもしれないですね。

— 福祉のことはどのようにして学ばれたのですか？

天笠 事業を始めてから現場での勉強はもちろん、40歳になってから通信制の大学で学び資格も取得しました。その学びの中で行政のあり方にも思うところがあり、大学の3年生の時には市議会議員に立候補し議員にもなりました。

現在は二十四時間の訪問介護への取り組みや、認知症への正しい理解と対応について啓蒙する「認知症サポーター」としての活動にも力を入れています。さらに核家族化が進む中で高齢者の方と子ども達が触れ合う機会を作るために、私のグループの保育園の子どもさんや、運営をさせていただいている地域子育てセンターの利用者の方と高齢者の方と触れ合える活動を行っています。

※2014年2月に発行されたコンシェルジュ通信を再編したものです

また、これからの高齢化社会を考え、今後は高齢者の本当の姿や認知症への正しい理解を学校でも勉強していくことが必要ではないかと考えています。学校でも福祉への理解を深めていくことは、子供達の心のあり方にも良い影響を与えるのではないのでしょうか。

大谷 私は子ども達と高齢者の方が触れ合う機会を職場体験のような形で実現できるのではないかと考え、研究しています。それは、高齢者の方のためだけでなく、生徒達に自分のことだけでなく他人を思いやることのできる人に育てて欲しいという思いからでもあります。感謝の心を持つなど、心の状態が良い生徒は勉強も部活も伸びていくという実感があるんです。

— 大谷先生の教育理念を詳しくお聞かせください

大谷 私たちの翔凜学園では「校風」を具体化したものとして「いじめゼロ」や「明るく元気に生活する」などを掲げています。また、あいさつや制服の着方など当たり前のことを徹底することも指導しています。これらが出来て初めてその上に勉強やスポーツがあるという考え方で、受験の指導にしても、周りを蹴落とすという考え方はなく、みんなで支え合い励ましあって頑張っていこうということを実践する機会として捉えています。また、部活動の全校応援なども保護者の方が率先して行ってくださることもあり、これも学校全体が一つとなる団体戦だと思っています。

本校の特色あるカリキュラムとして公立の2倍くらいのボリュームの英語教育があったり、部活動も剣道部や援護部などをはじめ全国レベルで活躍しているものもありますが、それらもベースに人としての温かな心があつてこそと考えています。



▲天笠寛氏(左)と大谷晋二先生(右)

これらは、私が平成22年4月に着任して以来、教育理念として打ち出していることですが、創立時からの良い伝統はしっかりと受け継ぎながら進めていくことが重要です。

— 本日はお忙しい中お時間をいただきありがとうございます

天笠 こちらこそ良いご縁をいただきありがとうございます。これを機会に大谷先生と地域への貢献や発展のために福祉と教育の分野で力を合わせていくことができると幸いです。

大谷 ありがたいお言葉、感謝いたします。地域の力になれるよう、今後ともご指導をよろしくお願いいたします。

コンシェルジュの活動を通して出会い、親交を深めたお二人が今後も地域貢献にともに歩むことができれば、こんなに嬉しいことはありません。対談会場である翔凜学園の生徒さんたちの大きな声の気持ちの良いあいさつもとても印象深いものでした。思わず取材をしている私も笑顔になりました。

(取材・構成 コンシェルジュ 田中新一)

コンシェルジュを応援しています

つばさグループ

- ・ 特別養護老人ホーム
- ・ 24時間訪問介護事業所
- ・ 短期入所生活介護
- ・ 夜間対応型訪問介護事業所
- ・ 訪問介護ステーション
- ・ つばさ保育園

社会福祉法人 志真会 株式会社オールプロジェクト

保健・医療・福祉の連携を取りながら、高齢者の方々が住み慣れた家、または住み慣れた地域において、安心して暮らし続けることができる街づくりに貢献いたします。健康で生きがいのある生活をしながら、地域社会への参加ができるように、保健・医療・福祉の連携を取り、問題点を分析し、円滑なサービスを展開していくことがつばさグループの理念です。

社会福祉法人志真会
千葉県君津市貞元510
TEL 0439-55-2222
FAX 0439-55-2223

株式会社オールプロジェクト
千葉県君津市人見3-6-19
TEL 0439-57-6665

ビジョナリースクール 翔凜中学校・高等学校

国際マインドを胸に、子供達の夢を実現させる力、可能性を育む環境があります。

校訓である「英知・精励・自律・協調・気品」の下、グローバル社会で活躍できる知識、技能を高め、また中高一貫教育の中において、早慶千数百名の合格実績を活かし、学業のレベルアップを図るとともに、継続性の高い教育による学業総合力を養います。さらにクラブ活動等を通して心身を鍛え、将来、幅広くグローバル社会で活躍できる確かな人材育成に努めています。

学業のレベルアップ、グローバル教育、部活動の強化を視野に入れた三位一体のバランスの取れた教育をめざします。

翔凜中学校・高等学校
千葉県君津市三直1348-1
TEL 0439-55-1200
FAX 0439-55-1225

コンシェルジュ通信

2016年 2月17日に特別養護老人ホーム「夢の郷」にて行われました

第100回オープンセミナーの報告

都市と地方の融合 赤木マキさん

わが国は人口減少と過疎化により、25年後には896自治体が消滅すると予想されています。そこで私たちは、まちの活性化と発展を目指し、他のまちに負けない付加価値をつくり出す活動をしています。

メインの活動としましては「新宿内藤とうがらしプロジェクト」があります。安土桃山時代にポルトガル人が持ち込み、平賀源内が江戸中に広めたと言われる「とうがらし」が高遠藩内藤家の下屋敷(現在の新宿御苑)で栽培されていた事から、この「内藤とうがらし」を通して、まちの活性化を図る活動です。とうがらしの苗を地元のみなさんに配り、育てていただいたものを、一味や七味とうがらしに加工し、地元のお店で使っていただくという活動です。「まちを元気に!」「子どもたちの未来のために!」の主旨を、多くの方々に賛同していただいております。



介護の心得と経験 御園房子さん

介護は誰もが通過する問題ですが、介護現場での悲しい事件が絶えません。どうしてこんな事件が起きるのでしょうか？

長年介護の現場を見ていて思う事は、心が育っていないということです。自分が経験したことがない事は受け入れられない、自分の心をコントロールできないのです。これは介護する方もされる方も同様です。

では、どうやって心を育てるのか？ やさしさや思いやり心は、日々の生活の中で親が体現してみせるしかありません。手作りの料理が子どもの心を豊かにし、また夫婦が認め合い、支え合う姿が子どもの心を育てていくのです。

介護は確かに大変ですが、心を育てる事で改善されていくと思います。



まちのくらしのオープンセミナー 毎月第3木曜日に開催 参加費：500円 予約不要
特別養護老人ホーム「夢の郷」君津市杉谷3-1 14:00~16:00

第32回 ジョイント・コンサート

巴里祭に詩う わが故郷・おもい・創唱す

～こんなにもあなたを愛せるのはまっとう
出あった人達から愛をもらったからでしよう～

日時：7月16日(土) 13:30より
会場：君津市民文化ホール(大ホール) 君津市三直 622

【主な曲目】 ヒロシマ・ティティエヌ・愛の讃歌・ジョリー・シャポー・アデュー・ラ・ポエム・ふたつの愛・時は魔法ね・王様の牢屋・枯葉・愛のシャリオ・影を慕いて・君ヶ浜慕情・歌いつづけること

チケット：1,000円 ※当日券もあります
主催：シャンソン友の会 トレビアン 巴里祭実行委員会 後援：君津市文化協会 富津市文化協会 かずさ FM 83.4
【お問合せ先】 平野 0439-67-0056 (更和セブンイレブン内) 金田 0439-52-8567



環境標語「優秀賞」 ●生き物が豊かにくらす 国(く)り(小)学生 ●ゴミ拾い 始めて地球へ 恩返し(中)学生 ●真剣に みんなで守ろう 我が子の未来(高)校生